

中小企業による SDGsの「誰一人取り残さない」取組み

地球環境戦略機関 (IGES) 主任研究員 吉田 哲郎



ISAP 2019

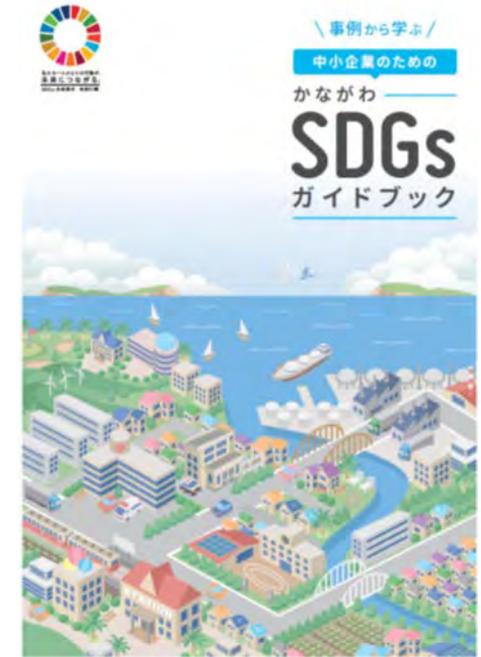
持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム
International Forum for Sustainable Asia and the Pacific

中小企業のためのSDGsガイドブック

- 神奈川県の委託を受け、IGESは2019年3月に「中小企業のためのSDGs活用ガイドブック」を作成 (<https://www.iges.or.jp/jp/sdgs/sme-case-studies/index.html>)。
- 神奈川県内の候補企業から、業種のバランスを考慮しつつ、SDGsの先進事例として11企業を選定しインタビューを実施（その内、8企業を掲載。残りの企業はIGESウェブサイトに掲載）。

Key Messages

- 中小企業は、SDGsの実施・達成のキープレイヤーです。
中小企業数は全体の99%、従業員数でも約70%
- SDGs市場は大きく、中小企業にとってもビジネスチャンスです。
市場機会の価値は、年間12兆ドル（約1,340兆円）、2030年までに創出される雇用は、世界で約3億8,000万人
- SDGsを取り入れているかどうか「会社選び」の基準になるかもしれません。
SDGsを使ったバリューチェーンの見直しがビジネス界でも進む。
ESG投資の拡大
- SDGsに取り組むことで、企業イメージのアップ、従業員の確保や「やりがい」につながる例が報告されています。
働きやすい職場は多様で優秀な人材を惹きつけ、モチベーションも上げる。
- SDGsは企業の「これから」を考える指針になります。
働き方改革、女性活躍、社会的弱者の活用など、多くのヒント



全企業数に中小企業が占める割合

	EU	アメリカ	中国	韓国	日本
中小企業の割合	99.8%	99.7%	97.33%	99.9%	99.7%
中小企業雇用者数の割合	71.1%	48.4%	64.75%	87.5%	69%
中小企業の付加価値額	56.0%	44.6%	52.04% (生産額)	49.5% (製造業)	53% (製造業)

SDGsにおける中小企業の役割

2030アジェンダ、SDGsの中で**中小企業の役割が認識され、設立や成長が奨励されている。**

2030アジェンダ 4 1 段落目

我々は、**小規模企業**から多国籍企業、共同組合、市民社会組織や慈善団体等多岐にわたる民間部門が新アジェンダの実施における役割を有することを認知する。

SDG 8（働きがい・経済成長）ターゲット8.3

生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて**中小零細企業の設立や成長を奨励**する。

中小企業による実施の利点

- 多くの中小企業は地域に密着。経営者や従業員も、地域で仕事と生活を営んでいることが多く、地域の課題、ニーズをよく理解している。
- 中小企業の活性化 = 地域社会の活性化。地域社会の課題解決に大きな役割。
- 地域コミュニティで有機的なパートナーシップを組みやすい。

世界でも日本でも課題が山積



世界の課題

- 極度の貧困にあえぐ人々が約7億人、安全な飲み水を日常的に使用できない人が世界人口の3割。
- 自然環境は驚くべき速度で悪化。海面上昇、海洋の酸性化、世界の平均気温に関して過去4年間が最高記録。
- 100万の動植物種が絶滅の危機。第6次大量絶滅期。
- 世界レベルでの飢餓の増加、世界人口の少なくとも半分が不可欠な医療サービスを受容できていない。
- 2050年にはプラスチック生産量はさらに約4倍となり、「海洋プラスチックごみの量が海にいる魚を上回る」など。

日本の課題

- 総人口に占める65歳以上の高齢者の割合は26.0%。2060年には40%。2060年には、高齢者1人に対して現役世代（15～64歳）1.3人。地方ではより顕著⇒過疎化。
- 日本の貧困率は15.6%。ひとり親世帯貧困率、50.8%（2015年）。
- 石炭火力（2012年以降計50基の計画）、原発再稼働など。



中小企業はどう貢献できる？つながりを見つけることが重要。

ハートフルタクシー（海老名市）

- 働きたくても時間の制約等があって働きづらかった子育て中の女性が働きやすい環境を整備（無料の保育所を事業所内に設置、タクシー業界では珍しい固定給制を導入）⇒女性ドライバーが多く活躍。
- ドライバーの雇用確保だけでなく、女性目線の子育て支援タクシー、陣痛タクシーや買い物支援など女性や高齢者のニーズにあったサービスを提供。
- 電話での配車率が90%を超え、日中は配車待ちが出るなど営業的にも成功。
- 地域社会への貢献、顧客、取引先、社員など会社に関係するすべての人々の幸せの追求、社員の「誇り」と「生きがい」、すべての社員が平等で対等など、SDGsに通じる7つの経営理念を掲げる。
- タクシー業界の既成概念（男ばかり、不親切、たばこ臭い等）の逆を目指すことで活路を見出す。



横浜建物管理協同組合（横浜市）

- 公共施設の清掃業務は価格のみの競争入札によって決定するため、最低賃金制度があるものの価格は最低レベル。
- 経済性のみを考慮する厳しい業種にあって、社会課題である障害者雇用を前向きにとらえ、活動に取り入れた。
- 一日中拘束されずに、短時間の作業を組み合わせることで出来る清掃作業が障がい者に適していることに着目。
- 障がい者が清掃業の即戦力になるよう出前トレーニングを各地の中学校などで実施するだけでなく、清掃のノウハウを伝える学習ビデオを作成や、横浜国立大学と協力して、仕事をしやすくするユニバーサルデザインの研究を実施。
- 障がい者教育やトレーニングは行政の仕事と思われがちだが、SDGsの精神「誰も取り残さない」を念頭に、組合に加盟している中小企業が取り組む。



はなまる農園（小田原市）

- おいしいけど、見た目はあまりよくない野菜を地元で**自然と身体に優しい形で生産**したいという思いから、はなまる農園は誕生。
- 農薬、化学肥料を一切使わない有機農法で生産物の価値を上げる。農薬は自然のみならず、生産者にも有害。
- 生産者の利益を確保しながら、中間業者を省くことで最終的な売値を低くキープ。
- 農園にレストランを併設するなど農業の6次産業化にも取り組む。
- 野菜の旬を理解し、無理せず自然に育てること、また多少見た目は劣っても自然に育ったおいしい野菜や果物を消費してもらう。
- 無駄なエネルギーの消費や、農産物の3分の1が廃棄になってしまっている現状を変える。
- 地産池消の仕組みを通じて**ひとにも自然にもやさしい農業を実践**。



気づきと学び

✓ **トップのコミットメントが何よりも重要。企業理念も。**

- トップのコミットメントがないとなかなか進まない。
- 企業理念は企業の存在意義。SDGsとの関連を見つける。

✓ **地域貢献をベースにしたビジネスモデル。崇高な目標を地域で実践。**

- SDGsは世界レベルの目標である。取っ付き難い場合は、地域に貢献することを目指し、グローバルなターゲットや指標には必要以上に拘らない。
- “Think globally, act locally”の実践。SDGsを意識しつつも、地域の課題に応える。
- 少子高齢化などSDGsでは重視されていない日本の課題にも応える。
- 地域課題の解決に貢献することで、経営リスクの回避、地域での信頼獲得⇒結果的に利益にも。

✓ **パートナーシップが重要**

- 大学、研究所などとの協力は有益（ユニバーサルデザインの研究など）。
- 社会的課題解決を支援する政府・自治体の協力も必要。

✓中小企業による本格的な実施が必要

- 国際社会はもとより、日本国内でも、政府、産業界もSDGsを後押し。ますます追い風は吹く。
- 経団連やGPIF、ESG投資の盛り上がりなどを見ると近い将来、投資の条件として、**SDGsの対応が必須になる可能性**あり。
- 世界に事業を展開する大企業では、バリューチェーン全体の見直しを始めており、関連する中小企業のサプライヤーにも影響が広がる可能性大。
- 信頼と評判を勝ち取るためには、コミュニケーション戦略が重要。実質を伴わない、**過剰宣伝はNG**。

✓地球も大事なステークホルダー

- 企業や活動内容を考えるときに、まず地球にとって良いことか考える（パタゴニアCEO談）。
- 企業を批判する前に、**私たち一人一人が地球環境破壊の原因であることを認識する**。





ご清聴ありがとうございました。

Thank you for your attention.

吉田 哲郎

t-yoshida@iges.or.jp

IGES Institute for Global Environmental Strategies
公益財団法人 地球環境戦略研究機関